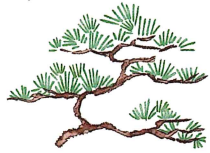


△樹里安 だより



Vol.46

2026年



植木屋さんの

おすすめ植物

その11

ミヤマガンショウ (深山含笑)



ミヤマガンショウってどんな植物？

モクレン科の2~3月の早春に花を咲かせる貴重な常緑樹で、甘く香る白い大輪の花を数多く付けます。病害虫の少なさ、耐暑、耐陰性など育てやすい特徴を多く持ち、庭木として育てられます。放任しても樹形は整いますが、スペースに限りがある場合は、花後に剪定を行うと良いです。



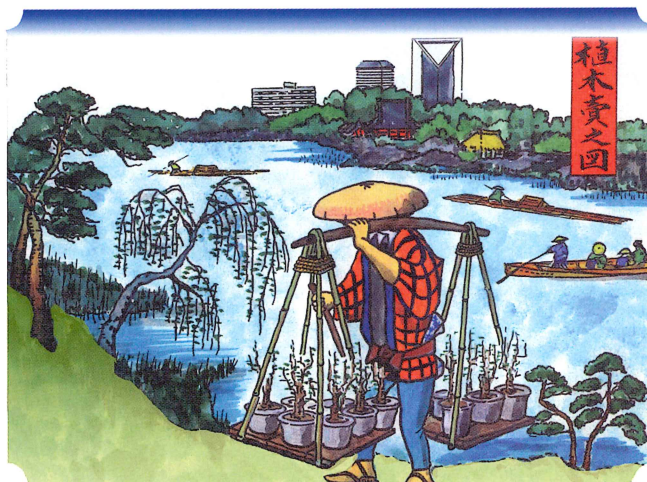
植 物 と 文 化

川口の植木産業の生誕

～植木生産の始まりは江戸時代～

花植木の生産…埼玉県は全国で何位だと思いますか？
産出額にして第6位(2023生産額調査)と有数の花植木の産地で、中でも川口市は県内でも屈指の植木の産地です。

川口の植木生産は今から400年程前の江戸時代。赤山に居城を構えていた伊奈氏により始まったと言われています。2022年に開設された「イイナパーク川口(赤山歴史自然公園)」は、治水事業や植木振興にも力を入れた当時の関東郡代伊奈半十郎忠治公に因んで公募命名されたものです。大宮台地の南東に位置し市木もサザンカとなっている川口は、昔からヤブツバキ域と呼ばれてきました。樹木類の生育に適した火山培土(赤土)からなる関東ローム層にあって、安行を中心に起伏に富んだ地形を活かし多彩な植木品目が栽培されてきました。



安行植木の祖 吉田権之丞



イイナパーク川口(赤山歴史自然公園・川口市赤山501-1)



伊奈半十郎忠治公(イイナパーク川口内)

～明暦の大火を乗り越えて～

江戸の明暦大火（1657年）では、城下が焼野原と化した際、川口からいち早く芝川や綾瀬川等の舟運を利用し江戸に植木や萱等資材が運びこまれ、復興に大きく貢献しました。そして当時の自然樹より造形的に仕立てられた植木を江戸の多くの民衆が目の当たりに

し、これが好まれ大当たりします。以後、大消費地江戸（東京）のストックヤード・産地として、川口は大きく発展を成し遂げていきます。その後、川口からさいたま市東部にかけ、やがて県内各地で盛んに植木生産が行われるようになりました。

～川口から全国に～

現在も川口で育まれた根回し・根巻き・枝折^{しお}り・吹かし等の伝統技術は脈々と受け継がれています。特に安行の根巻きの縄の造形美は全国一と言われてきました。全国の植木流通の三大拠点の一つと呼ばれる川口安行は、全国の植木緑化産業振興を牽引し、毎週火曜日には樹里安隣設の取引センター（川口市営植物取引センター）に県内外全国から沢山の植木類が集まりせりが行なわれ、バイヤーで熱く賑わいます。

明暦の大火時、復興の中心的役割を担い安行植木の祖と言われた吉田権之丞匠のお墓が金剛寺（安行吉岡）にあり、今でも地域に語り継がれています。



根巻き技術



せり



枝折^{しお}り技術



日本人の
自然観と植物

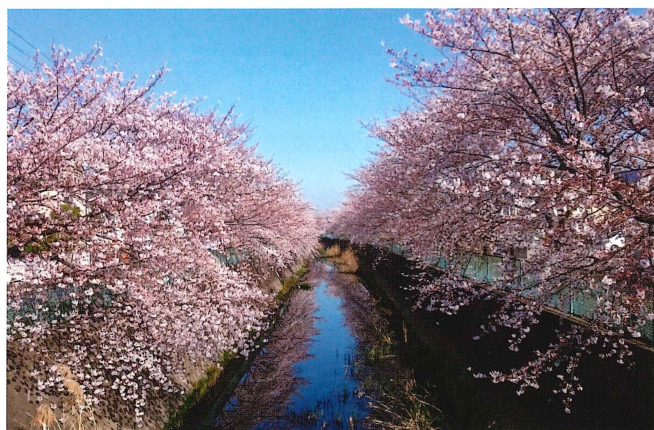


お花見

日本のお花見は、桜の下で宴会する為の単なる行楽ではなく、古くは農耕と深く結びついた行事でした。「さくら」の「さ」は田の神を表し、「くら」は神様が座る場所を意味するといわれています。桜が咲くと、山の神が里へ降りてきて田を見守るとされ、人々はその年の豊作を祈って桜の下で宴を開きました。これが、今に続くお花見の原点とされています。

そうやって春の主演となった桜ですが、当センター所在地の埼玉県川口市安行原産の「安行寒桜(通称:大寒桜)」という品種があるのはご存じでしょうか。実は、安行を中心に川口市内各所に「安行寒桜」の名所があります。

他にも当センターでは、人気品種の「ソメイヨシノ」の原産地とされている東京都豊島区駒込「染井吉野桜記念公園(豊島区駒込2-2-1)」にて、4月下旬に「駒込・安行植木まつり」を開催しています。地元産の花弁・盆栽がずらりと並び、春の訪れを感じられる楽しいイベントです。



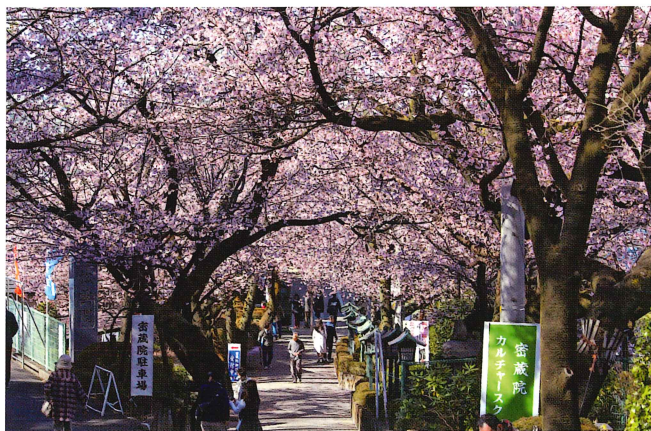
安行寒桜の名所 伝右川(川口市東川口4丁目)



ソメイヨシノの名所 染井吉野桜記念公園(豊島区駒込2-2-1)
「駒込・安行植木まつり」



安行寒桜の名所 川口緑化センター 道の駅川口あんぎょう
(川口市安行領家844-2)



安行寒桜の名所 密蔵院(川口市安行原2008)



春は桜の花の下で、植物と人、地域がともに息づく春のひと時を、ぜひ川口安行にてお楽しみください。



緑の暮らしと豆知識

植木類剪定のワンポイント

カイヅカイブキを剪定し、尖った針葉が出てきたことはないですか？ 5月～6月以外に強剪定すると見られる所謂先祖返りと言われるものです（針葉は元に戻らないので基部から切る）。樹木には適した剪定時期があり、品目毎に異なる場合もありますが、樹種別に見ると以下のとおりです。



針葉(カイヅカイブキ)

①落葉樹 → 休眠期の冬季が中心

【広葉樹:12月～3月 針葉樹:2月～3月】

※落葉樹でも、開花の早いカエデ、ウメ、ロウバイ、カリン等は年内。早生ウメは早めの10月に行くと花付きが良い。一方、開花が遅く寒さに弱いネムノキ、サルスベリ、ザクロ等は遅めの4月。アジサイ、ツツジ・サツキ等で次期花芽が早くつくものは、開花直後に剪定する。

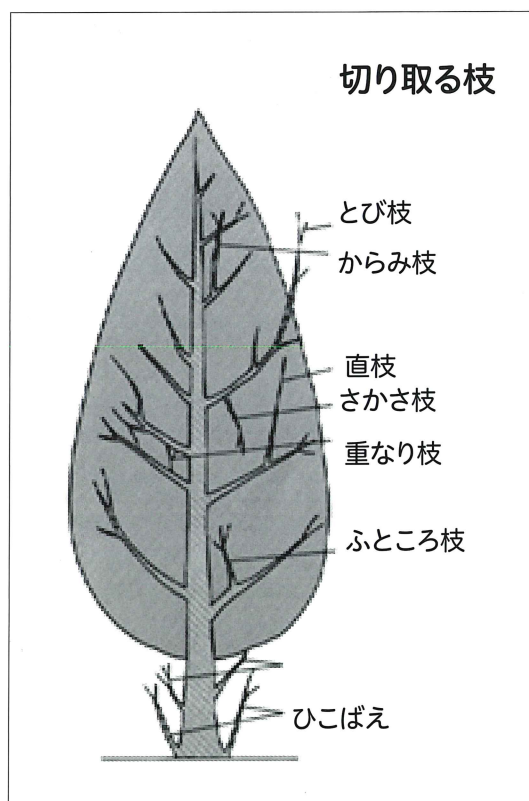
②常緑樹 → いずれも冬期間は原則避ける

【広葉樹:4月～5月上旬 針葉樹:3月～4月】

※常緑樹でも、寒さと乾燥に弱い暖地性のカシ、クスノキ、シイ、モクセイ、モチノキ、ヤマモモ、カイヅカイブキ等はやや遅めの5月上中旬～6月頃が良い。

③全樹種共通

剪定は上からみて極力重なり合わず、特に幹の同じ高さから出る枝は何本も出さないよう切りつめる。徒長枝や混雑枝、ひこばえ、不要枝は基部から剪定する。盛夏は、いずれの樹種も剪定や切戻しは避けて下さい。



川口緑化センターの主なイベント開催結果報告

第100回 秋の安行花植木まつり 令和7年 10月11日(土)~13日(月/祝)

当センターの一大イベントである「花植木まつり」は今回で第100回の節目を迎え、秋空の下、会場いっぱいに花や植木が並び、たくさんの来場者でにぎわいました。

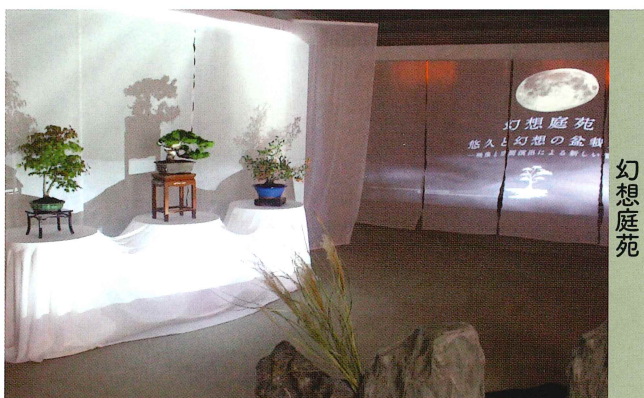
川口緑化センター会場では、人気YouTuberカーメン君によるトークショーや、映像と音を組み合わせた特別展示「幻想庭苑 ~悠久と幻想の盆栽展~」が注目を集めました。盆栽体験教室や寄せ植えコーナー、お茶席実演、物産展、スタンプラリー、植木の手入れ実演なども行われ、子どもから大人まで幅広い世代が楽しめる催しとなりました。

花と緑に包まれた安行の魅力を感じていただける3日間となり、多くの笑顔があふれました。

ご来場くださった皆さま、そしてご協力いただいた関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。これからも「植木の里 安行」の魅力を広く発信していきます。



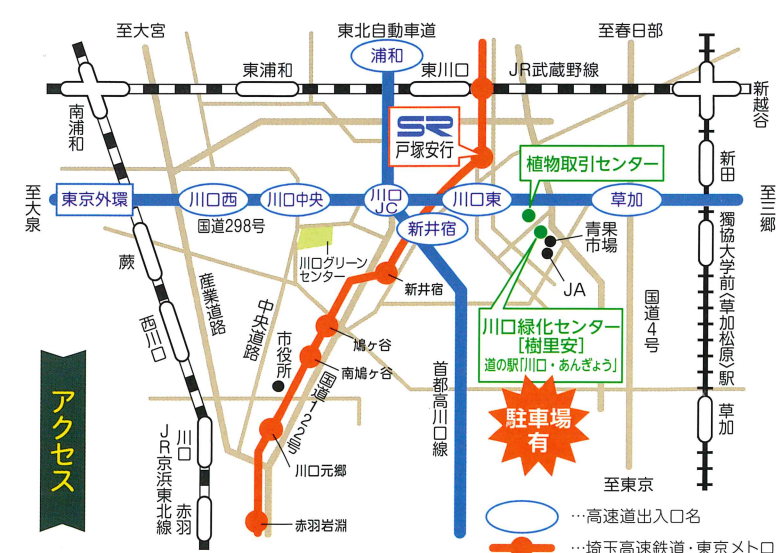
植木・花卉等展示販売



幻想庭苑



カーメン君トークショー



川口緑化センター・道の駅「川口・あんぎょう」



発行 令和8年3月

公益財団法人 川口緑化センター

〒334-0058 川口市安行領家844-2

☎ 048-296-4021



<https://www.jurian.or.jp/>